

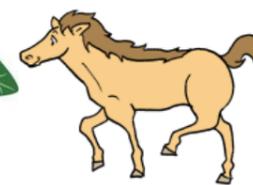
### 『走れ！！機関車』

ブライアン・フロッカ／作・絵  
日暮 雅通／訳 偕成社

1869年、広大なアメリカ大陸を横断する鉄道が開通しました。その蒸気機関車に、ある家族が乗り、大陸を東から西へと約1週間の旅をします。機関士や機関助手たちは一生懸命働き、平原や山脈や渓谷の様々な景色の中を乗客を乗せて全速力で走り続けます。あなたも迫力満点の絵本で、シュッシュ、ガタンガタンと旅しよう。



## 2017 夏のお手紙 ～ 中学生 ～ 富田林市立図書館



### 『はゆまのすず 駅鈴』

久保田 香里／作  
坂本 ヒメミ／画 くもん出版

奈良時代、大切な知らせは使者が馬を走らせていました。街道沿いで馬の手配をする駅屋を舞台に、少女小里が困難に立ち向かい成長する姿が描かれます。女子に駅屋を継げるのか、気になる官人への気持ちは恋なのか。馬泥棒や、大仏建立、次々と起こる出来事。読むと自分もその場にいるような気持ちになるかもしれませんよ。



### 『たびネコさん』

～ぐるりヨーロッパ街歩き～

ケイト・バンクス／作  
ローレン・カスティエーヨ／画  
住吉 千夏子／訳 きじとら出版

たびネコさんは、人間の家族と一緒にヨーロッパ各地を旅しています。ローマの世界遺産・コロッセオの壁を楽しく散歩したり、イギリスのお城の前で兵隊さんの交代式を見物したり。オランダでは川にとまっているボートの上で毛づくろいなんかもします。他にも名所はまだまだたくさん。ねえねえネコさん、どちらまで？



図書館にはたくさんのお本があります。楽しい本・感動の本、驚きいっぱいのお本が君たちを待っています。夏休みは図書館で、ゆっくり過ごしてみませんか。



### 『大林くんへの手紙』

せい の あつこ／著  
PHP研究所

私はこれからどれだけウソの作文を書くのだろう。私は先生が点数をくれそうな文章を書いている。ある日、学校をずっと休んでいる大林くんへクラス全員で手紙を書くことになった。早く学校に来て下さいね。そんなこと思ったことない。だいたい大林くんとは話したこともない。自分の文章がウソすぎて、手が止まってしまった。



### 『につぼんのおやつ』

白央 篤司／著  
理論社



「大阪のおやつは？」と尋ねられ、何を思いうかべますか？全国にはそこに暮らす人たちがイチオシのおやつがあります。この本では、47都道府県代表のおやつを、写真と地図を付け、材料や名前の由来や歴史などを紹介しています。栃木県の「いもフライ」、香川県の「しょうゆ豆」などもあり、日本のおよつゆのゆたかさを実感！！



### 『ダールのおいしい！？レストラン』

～物語のお料理フルコース～  
クエンティン・ブレイク／絵  
ジャン・ボールドウィン／写真  
ジョウジー・ファイソン／編 フェリシティー・ダール／編  
その ひかる／訳 評論社

この本にのっているお料理は、「ミミズスパゲッティ」「子供部屋用なめられる壁紙」なんて不思議な名前ばかり。これは、『チョコレート工場の秘密』を書いたロアルド・ダールのおはなしの中にでてくるお料理だよ。見た目もとっても楽しくて、こんなの食べられるの？って思うけど、大丈夫！ちゃんと食べられる材料のレシピだよ。



### 『本のことがわかる本 1』

調べよう！文字のはじまりと本の歴史』  
稲葉 茂勝／文 能勢 仁／監修  
ミネルヴァ書房

本の誕生には、文字や文字を書き写す材料が欠かせません。この本では文字の誕生から紙の発明、印刷技術の発展について詳しく述べられています。また、近年出てきている電子書籍についても触れています。

全3巻シリーズで2巻目は「知っているようで知らない本」、3巻目は「本が読者にとどくまで」というテーマで書かれています。



『マリゴールドの願いごと』  
 ジェーン・フェリス／作  
 ないとう ふみこ、池上 小湖／訳  
 小峰書店

6歳のクリスチャンは厳格な家がいやになり家を出て、森に住むトロールのエドに助けられ11年がすぎた。クリスチャンは望遠鏡で川向こうのお城をながめてきたが、いつもひとりぼっちの末っ子姫が気にかかっていた。ある日、クリスチャンは末っ子姫にむけて伝書バトをとばすと返事が戻り、マリゴールド姫との恋の物語がはじまる。



『世界の絶滅動物  
 いなくなった生き物たち 1. ヨーロッパ・アジア』  
 エレーヌ・ラジカク／作 ダミアン・ラヴェルダン／作  
 フランス国立自然史博物館／協力  
 北村 雄一／日本語版監修 汐文社

人間は自分の生活に都合のよいように自然をつくり替えます。これ自体はほかの動物もしていることですが、人間はあまりにもその力がおおきいので、知らず知らずのうちにたくさんの動物を追いつめ、そして絶滅させてきました。氷河期から現代までの絶滅動物を紹介しています。  
 2. 南北アメリカ 3アフリカ・オセアニアも興味深いですよ。

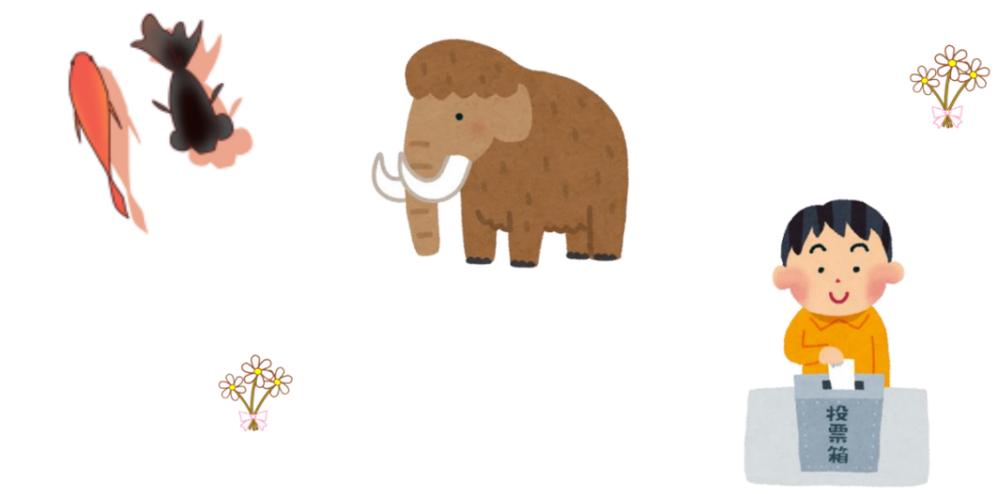


『世界を7で数えたら』  
 ホリー・ゴールドバーグ・スローン／著  
 三辺 律子／訳 小学館

ウィロー・チャンスは天才です。ただし、みんなはウィローのことを少し変わった女の子だと思っています。ウィローを理解しようとしてくれたのは両親だけでした。しかし、ウィローの世界は、両親が事故で亡くなってから一変します。ウィローとウィローを理解し助けようとしてくれた人たちとの温かな交流が描かれています。

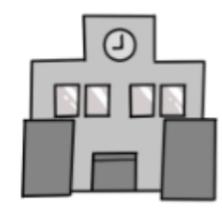
『はじめての浮世絵  
 ～世界にほこる日本の伝統文化 全3巻～』  
 深光 富士男／著  
 河出書房新社

浮世絵といえば、日本の名所絵や歌舞伎の役者絵をどこかで見たことがあるでしょう。この本では、江戸時代に世界最高峰と言われた版画の技法や、葛飾北斎や写楽など人気絵師の名作、さらに庶民にまで流行した様々な浮世絵版画など多岐にわたり紹介しています。今、世界から注目されている浮世絵のすばらしさがきつと伝わるシリーズです。



『セルマの行進  
 ～リンダ十四歳投票権を求めた戦い～』  
 リンダ・ブラックモン・ロワリー、  
 エルズベス・リーコック、スーザン・バックリー／原作  
 渋谷 弘子／訳 汐文社

わたしは1950年にアラバマ州のセルマで生まれ、十五歳になるまでに九回、刑務所に入りました。当時アラバマ州では、憲法ですべての人権の投票権が認められているのに、黒人はほぼ投票することができませんでした。わたしは、十三歳のときはじめてマーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師の演説を聞き、戦うことをきめたのです。



『がらくた学級の奇跡』  
 パトリシア・ポラッコ／作  
 入江 真佐子／訳 小峰書店

トリシャは夏休みの後、ママと暮らしているカリフォルニアには戻らずミシガンで新学期を迎えた。普通学級に通う気だったのに割り当てられたのは、がらくた学級と呼ばれている特別クラスだった。落ち込むトリシャを個性的なクラスメイトは温かく迎える。ピーターソン先生と仲間たちで過ごす奇跡のような1年の始まりだった。

『銀杏堂』  
 橘 春香／作 偕成社

町の骨董屋(銀杏堂)に、勇気をふりしぼって入ってみたレンちゃん。店には使い道のわからない品物がぎっしりと並び、店主のおばあさんがひっそり座って帳面をつけています。レンちゃんが質問すると、おばあさんはひとつひとつの品物にまつわる楽しくてスリリングな冒険談を聞かせてくれました。

